

ぴっころ

～子育て支援センターには楽しいことがいっぱい～



揖斐川子育て支援センター

揖斐川町上南方 193 TEL 23-1136
開館日 月曜日～金曜日・第3土曜日
9:00～16:00

※揖斐川子育て支援センターは、子育て中のお父さん・お母さん・妊婦さん、おじいさん・おばあさん、子育てが一段落した先輩ママさん地域の方など、どなたでも来ていただける場所です。気軽にお出かけください。

※行事など詳細は毎月発行しているピッコロ日より、支援センターホームページで確認いただけます。

◇ホームページ

揖斐川町 <http://www.town.ibigawa.lg.jp/>
揖斐幼稚園 <http://www.ibi-youchien.ed.jp/>

◎町内幼稚園のなかよしタイム(園庭開放)

3月10日(水)・24日(水)

詳しくは各幼稚園にお問い合わせください

◎揖斐幼稚園 開放日 3月3日(水)

♪幼稚園へ申込みください。

(当日可) TEL22-6008

【3月の活動予定】

日	月	火	水	木	金	土
	1 育児相談	2	3	4	5	6
7	8 育児相談	9	10	11	12 ♪ひよこ交流	13
14	15 育児相談	16 ♪さくらんぼ交流	17 ♪いちご交流	18	19 ♪りんご交流	20 春分の日
21	22 育児相談	23	24	25	26 ♥お話ルーム ♥誕生会	27
28	29 育児相談	30	31	・年齢別交流は親子でありがとうの会を予定しています		

- ・行事の申込みは、前月の第3水曜日より実施日まで、揖斐川子育て支援センターで受け付けています。(電話予約不可)
- ♥♪は要申込み ♪は人数制限があります。★はどなたでも参加できます。
- ・荒天で行事を中止する場合があります。支援センターまでお問い合わせください。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、講座・公民館出前保育など中止する場合がありますので、支援センターホームページ・電話でお問い合わせください。

★子育て支援センターは、子ども(0～18歳未満)のあらゆる相談窓口です。

*一人で悩んでいないで気軽にご相談ください。

子育てQ&A 母の就労について



Q

6か月の男児。産後3か月で仕事に復帰し、昼間は義母が世話をしています。私が見るのは朝と夜の1時間ぐらいで、夜は一緒に寝ています。義母を実際の母親と勘違いしないか心配です。短い時間でどう接すればいいのでしょうか。

A

子どもにとっては、祖母は祖母、母は母です。子どもは誰よりもお母さんが大好きです。小さくてもお母さんのことを応援してくれています。だから「お留守番、ありがとう!」と言って抱っこしてあげてください。一緒に過ごせる時間のスキンシップを大切にしましょう。スキンシップは時間の「長さ」ではなく「質」です。お義母さんも毎日の子育ては大変でしょう。家族で支え合い、みんなから愛情いっぱいを受けて育つことのできる子どもは、人に感謝できる人の気持ちが分かる子に成長すると思います。

揖斐川町は、住民の皆さんの子育てを応援しています。 ～子育て支援センター活動紹介～

～ 新聞びりびり!! ～

新聞をびりびりと破り、その感触・音を楽しみました。破ることで日頃のストレス解消!? ママや職員が新聞の中に隠れ、とび出すと、とびっきりの笑顔になった子どもたち。遊んだ後の片付けが大変…と思いがちですが、子どもの手は大きな力になります。「ありがとう!」「きれいになるね!」と声をかけながら袋の中に詰め込み、あっという間にきれいな部屋に元通り!「たのしかった!」「またやろうね!」親子ともにスッキリした活動となりました。



いっしょに園キッズ!

●「雪遊び」

～かすが幼稚園～

12月の大雪で、かすが幼稚園の園庭は一面真っ白に染まりました。ここ数年は雪があまり降らなかったこともあり、小さな子ども達にとっては、初めて見る雪の量だったようで、驚く子、喜ぶ子など様々な表情を見せていました。スキーウェアを着て登園した子ども達は雪を踏みしめるたびに鳴る音に耳を澄ませ、「キュッキュ!」って鳴るよ!」「雪踏むと雪が小っちゃくなるよ!」などと、子ども達が思ったことをたくさん伝えてくれました。また、広い園庭に寝転がり、雪の柔らかさや冷たさを体験したことで、自然のパワーを感じたようでした。

雪合戦、かまくら作り、ソリ滑りなどで楽しんだ後、最後に寒くて外で雪遊びができなかった未満児クラスの子たちへのプレゼントをみんなで作りました。

そのプレゼントとは、そう!「ゆきだるま」です。家庭から雪だるまの鼻にする!とニンジンを持ってきてくれた子もいて完成した雪だるまは、アナと雪の女王に出てくる「オラフ」そっくりになり、小さい子たちも大喜びでした。

雪は柔らかく、子ども達の手でおにぎりやケーキなどいろいろなものに見立てて遊ぶこともでき、固めることでかまくらや雪だるまも作れ、ソリで滑ることもできます。

冬の季節にしかできない「雪遊び」の中で子ども達の想像力が豊かになり、友達と協力して作る楽しさを知り、滑る感覚の面白さを体験できた「雪」は子ども達にとって、うれしい自然からのプレゼントでした。



派遣期間を振り返ると、 本当にあっという間の1年でした!

新型コロナウイルス感染症の影響で芽室町のイベントを学ぶことは難しかったですが、プライベート等で各地を飛び回り、芽室町の新たな取り組みであるワンディキャンプやサイクリングツアーを体験するなど、どれも楽しく充実したものでした。

また、新たな取り組みとしてZOOMを活用した揖斐川町とのオンライン交流会を行い、さらに両町の職員間の交流が深まったと感じています。今後もこの取り組みは続けていきたいと考えています。

1年間という短い間でしたが、芽室町職員、また揖斐川町職員の代表であるという意識を持ち、両町それぞれの職員として恥ずかしくないよう、少しでも力になりたいという思いをもって働いてきました。

芽室町で得たものを活かしながら、揖斐川町でもこれまで以上に町職員として恥ずかしくないよう働いていきたいです。

北海道しか味わえない経験ができますので、興味のある方は、ぜひ一度訪れてみてください!

芽室町商工観光課(揖斐川町派遣職員)

立川 俊樹

